



大協商店を見学する参加者

最初に見学したのは、開発したジスプロシウム分離精製装置で、世界に先駆けての実用化となるもの。商店、東京大学と共同

【各務原】レアメタル資源再生技術研究会(伊藤秀章会長)は、4日にオープン合同分科会の開催後に、ネオジム磁石のリサイクルプラントの見学会を開催した。計2カ所のプラントを回り、湿式処理法を用いたレアメタル・リサイクルの現場を実際に体験できる貴重な機会となった。

### レアメタル資源再生技術研

## ネオジム磁石再資源化

## プラント2カ所を見学

### 湿式処理の現場体験

この装置は、市中で発生した使用済みネオジム磁石から、純度99・9%以上の高純度でジスプロシウムを回収することができる。産業技術総合研究所と日本原子力研究開発機構が開発したエマルションフロー法を活用することで、低コスト、高効率なリサイクルを行うことができる。また、装置が小型で「モ、バイル」できる特徴を持つ。20立方分の貿易用コンテナで運ぶこともでき、国内外を問わずに活躍が期待されている。

リサイクルを行うのは国内でも例がなく、金属原料業界のリサイクル手法が次の時代に入った一例として高い注目を集めている。ネオジム磁石を、化学的に分離すること

で、ネオジムやジスプロシウムが含まれた高純度のレアアース混合酸塩を回収することができる。現場では徹底したコストダウンが図られており、実用化

に向けた取り組みが進んでいる。参加者は列を作って実用化に至ったプラント設備を見学、同技術の活用を希望する声なども聞かれた。